学校番号	102

平成３１年度　国語科

教科	国語科	科目	現代文Ｂ	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	高等学校『標準現代文Ｂ』（第一学習社）						
副教材等	新版二訂『必携国語』（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ

・３年生では就職や進学に向けて国語の基礎学力の定着を図りましょう。
・授業で扱う教材を通じて、生き方や考え方を追体験してみましょう。
・文章の論理的な構成を捉えて、筆者の主張を理解する力、また、様々な文章のより深い鑑賞と読解の力を身に付けましょう。
・様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けてください。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

2　学習の到達目標

・目的や場にふさわしい語句を選んで、適切に思いや考えを表現することができる。
・目的や場に応じて的確に文章の内容や構成、登場人物の心情を理解することができる。
・人間関係において、互いを尊重し、相互理解を深め、正しく意思を伝え合うことができる。
・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。
・伝統的な言語文化に対する関心を持ち、国語を尊重する態度を育んでいる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、プリント等）	行動の観察 （授業中の発言、聞く姿勢）	記述の確認及び分析 （ノート、プリント等）	記述の確認及び分析（ノート、プリント等） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート、プリント等） 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	世界を見つめる	教材: 「ワスレナグサ」 「食と想像力」	○			◎	○	a:筆者の体験を追体験することで、現代社会について考える糸口にしている。 d:考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確に捉えている。 e:正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト
	小説を読む	教材: 「山椒魚」 「ひよこの眼」	○			◎	○	a:考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確に捉えようとしている。 d:簡潔にまとまった短編小説の読解を通じて、小説を読む基礎力を身に付ける。 e:正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト
	意見文の書き方	〈評論についての意見文を書くことで、文章の書き方を学ぶ〉 教材:「意見文を書こう」 ワークシート	○		◎		○	a:文章の形態や文体、語句などに合った適切な表現の仕方で書こうとしている。 c:文章の形態や文体、語句などに合った適切な表現の仕方で書いている。 e:書くことに必要な、文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a、c、e: 記述の点検と確認
2学期	小説を読む	教材: 「こころ」	○			◎	○	a:作中人物の心理と行動を読み取る力を身に付ける。夏目漱石の作品の魅力に触れ、他の作品を読もうとする意欲を持っている。 d:他者とのかかわりの中で、自分の「心」からどんどんかけ離れていってしまう「先生」の姿を通して、人間という存在の在り様を考えている。 e:表現法や語句の意味を知ることにより、言語生活をより豊かにしている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト

2学期	ディベートを行う	〈ディベートを通して、互いの考えを深めながら、話し方聞き方について学ぶ〉 教材:「『こころ』の先生やKになりきってディベートをしてみよう」 ワークシート	○	◎			○	a:『こころ』の作中人物になりきって、自分の考えを説明したり、考えを相対化したりして話し合おうとしている。 b:相手の考えを踏まえて自分の考えを説明したり、考えを相対化したりして話し合っている。 e:話すこと・聞くことに必要な、文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a、b、e:行動の観察と確認及び分析
	詩を味わう	〈いろいろな詩を鑑賞する〉 教材:教科書に掲載された詩	○			◎	○	a:人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付こうとしている。 d:人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付いている。 e:文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e: 記述の確認と分析及び定期考査
3学期	小説を読む	教材: 「卒業」	○			◎	○	a:働くこと、生きることをめぐる小説を読むことで、自己と世界の関わりを見つめ直し、将来の展望について考えている。 d:自身とは異なる立場にいる語り手や登場人物の心情と、その変遷を的確に捉えている。 e: 正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e: 記述の確認と分析及び定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。